三年生で習う漢字のれい文 ㊳〜㊿

㊳ 自由勉強で反対の意味を調べた。
㊴ まな板の油を湯であらい落とす。
㊵ 橋の中央でお待ち申し上げます。
㊶ 学級に配り係その他の仕事がある。
㊷ 試合に負けても野球部は礼を言う。
㊸ 三丁目に発電の研究所がある。
㊹ 指を切り、薬局で安い薬を買った。
㊺ 地階の部屋は暗くて人が住めない。
㊻ 庭で植物を一生けん命育てる。
㊼ 道路に鉄柱を根元*からうめこむ。
㊽ 友だちと相談し、手助けをした。
㊾ 千葉県の予算はある県の倍だ。
㊿ この曲の第一楽章は有名だ。

※太い字は三年生で習う漢字です。

*「根元」は「根本」と書く場合もあります。

れい文 ①〜⑤

文を三回読みましょう

名前　　月　日

① 九州旅行に洋服を持っていく。
② 緑色の豆を両手で皿に取り分けた。
③ 主人公は都会で幸福にくらした。
④ 身長、体重を調べて書き写す。
⑤ 昔の友が死んだ悲しみを詩に表す。

れい文 ①〜⑤

漢字をていねいになぞりましょう

名前　　月　日

① 九州旅行に洋服を持っていく。

② 緑色の豆を両手で皿に取り分けた。

③ 主人公は都会で幸福にくらした。

④ 身長、体重を調べて書き写す。

⑤ 昔の友が死んだ悲しみを詩に表す。

れい文 ①〜⑤

漢字に読みがなをつけましょう

名前　　月　日

① 九州旅行に洋服を持っていく。

② 緑色の豆を両手で皿に取り分けた。

③ 主人公は都会で幸福にくらした。

④ 身長、体重を調べて書き写す。

⑤ 昔の友が死んだ悲しみを詩に表す。

（答え➡7ページ）

れい文 ①〜⑤

漢字のでき方を読みましょう

名前　　月　日

州

シュウ　本州

川の中にある中州の形からできた字。それから陸地の意味になり、大きな地域の意味に使われるようになった。

皿

さら　お皿

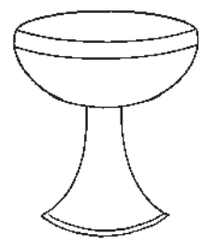
皿の形からできた字。今の皿とは形がちがい、底が深かった。

主

ぬし　おも　シュ　持ち主　主な登場人物　主語

明かりをともす台に火がついている形。火をあつかうのは氏族の中心になる人だったことから、中心になる人を主と言うようになった。

※〈主をふくむ字〉柱は木が家の中心でじっとしていること。住は人がじっと定住すること。注は水を注ぐときに、じっと注意して見ること。



身

み　シン　身の回り　全身

にんしんして腹の大きな人を横から見た形。後に「からだ」の意味になった。

死

しぬ　シ　金魚が死ぬ　死者

歹と人（匕）を組み合わせた形。歹は死者のほねの形。

れい文 ①〜⑤

漢字の練習をしましょう

名前　　月　日

① 九州に□□を持っていく。

② 緑色の□を両手で□に□り□けた。

③ □□は都会で幸福にくらした。

④ 身長、□□を調べて□き□す。

⑤ 昔の□が死んだ悲しみを□に□す。

（答え⬇7ページ）

れい文 ①〜⑤

漢字の練習をしましょう

名前

月　日

① □(きゅう)□(しゅう)旅(りょ)行(こう)に洋(よう)服(ふく)を□(も)っていく。

② □(みどり)□(いろ)の豆(まめ)を□(りょう)□(て)で皿(さら)に取(と)り分(わ)けた。

③ 主(しゅ)人(じん)公(こう)は□(と)□(かい)で□(こう)□(ふく)にくらした。

④ □(しん)□(ちょう)、体(たい)重(じゅう)を□(しら)べて書(か)き写(うつ)す。

⑤ □(むかし)の□(とも)が□(し)んだ□(かな)しみを詩(し)に表(あらわ)す。

(答え➡7ページ)

れい文 ①〜⑤

漢字を書きましょう

名前

月　日

① □(きゅう)□(しゅう)□(りょ)□(こう)に□(よう)□(ふく)を□(も)っていく。

② □(みどり)□(いろ)の□(まめ)を□(りょう)□(て)で□(さら)に□(と)り□(わ)けた。

③ □(しゅ)□(じん)□(こう)は□(と)□(かい)で□(こう)□(ふく)にくらした。

④ □(しん)□(ちょう)、□(たい)□(じゅう)を□(しら)べて□(か)き□(うつ)す。

⑤ □(むかし)の□(とも)が□(し)んだ□(かな)しみを□(し)に□(あらわ)す。

(答え➡7ページ)

れい文 ①〜⑤

漢字を書きましょう

名前　　月　日

（答え➡7ページ）

① □□□に□□□を□っていく。

② □の□を□で□に□り□けた。

③ □□□は□□で□□にくらした。

④ □□、□□を□べて□き□す。

⑤ □の□が□んだ□しみを□に□す。

れい文 ⑥〜⑩

文を三回読みましょう

名前　　月　日

⑥ 羊を追うと一せいに動き始めた。

⑦ かれが美化委員の代表に決定した。

⑧ 太平洋の島の波打ちぎわで遊ぶ。

⑨ 神様を祭って、深く幸せをいのる。

⑩ 鼻血が出て真正面を向けない。